

世相スケッチ

一、石ブームアラカルト

昨今は大変な石ブーム。

石は石でも日本の三名石の一つ上野寛永寺の「黒髪山」はブームの折から時価数千万円もするといわれています。

昔から日本人は石に特別の関心をよせてきました。それは現代でも変わりありません。その愛好者は全国でざっと二百万人ともいわれているようにブームはますます深く広く進行してゆくようです。

デパートにもちゃんと石が展示されています。時価数十万円の石にためいきをついたり、みとれたり、流行には敏感なお嬢さんも無関心ではいられません。自分が拾えばタダでも楽しめるという手軽さ、まちがって名石にでもぶつかろうものならそれは家宝、財産になるとあってブームはブームを呼び今日も河原は宝を求めて歩きまわる人達であふれています。

一、「ひとりぼっちの新学期」

—山梨—

山梨県東山梨郡牧丘町柳平金峰山のふもと標高千五百メートルの所に開拓部落がある。

乳牛二十頭の共同酪農を営み戸数はわずか四戸。

ここに先生一人、生徒一人の分校がある。

入植した当時、子供たちは、片道三時間もかかる、牧丘第一小学校に通っていたが「子供たちに雪の峠を越えて通学させるのはかわいそう……」と、開校したのが分校のはじまり、開拓者一家の主婦である水上三保先生は戦前小学校の教壇に立った経験があったため、ふたび教職についた。

今までに十七人の卒業生を出したこの柳平分校も、今年是由美子ちゃん一人になってしまった。

辺地の分校とはいえ水上先生の愛情に育まれて由美子ちゃんは今日も元気いっぱい勉強している。